

日本珪藻学会第42回研究集会（東京海洋大学）プログラム

期 日：2022年11月26日（土）

会 場：東京海洋大学品川キャンパス（〒108-8477 東京都港区港南 4-5-7）
白鷹館2階 多目的スペース

学会会長：出井雅彦

研究集会実行委員長：鈴木秀和

11月26日（土）

12:00 受付開始

12:50 開会 学会会長・研究集会実行委員長挨拶

《 一般講演 1 》

【座長 千葉 崇】

13:00 (1) 海産珪藻 *Falcula* 属の系統と分類

○菅原一輝、鈴木秀和、神谷充伸（海洋大・院・藻類）、長田敬五（日歯大・新潟・生物）

13:15 (2) 海産付着珪藻 *Gomphonemopsis pseudexigua* の形態と分類

○吉永森羅、鈴木秀和、神谷充伸（海洋大・院・藻類）、長田敬五（日歯大・新潟・生物）

13:30 (3) コメツキガニの摂餌行動と底生微細藻類の関係

○中村優太、鈴木秀和（海洋大・院・藻類）、宮崎奈穂（海洋大・院・生物海洋）、神谷充伸（海洋大・院・藻類）、

13:45 (4) ミズワタクチビルケイソウの観察と検出法の開発に関する研究

麦倉佳奈、Eldrin Arguelles、●佐藤晋也（福井県大・海洋生物資源）

14:00 休憩

《 特別講演 》

【座長 鈴木秀和】

14:10 珪藻研究の愉しみ

後藤敏一（紀の国珪藻研究所）

14:50 写真撮影・休憩

《 一般講演 2 》

【座長 佐藤晋也】

- 15:10 (5) 北海道阿寒湖北岸域における過去 300 年間の珪藻群集変遷(予察)
●千葉 崇、長田涼介 (酪農大・環境共生)、尾山洋一 (釧路市教委)、長井雅史 (防災科研)
- 15:25 (6) フィンランド中部の年縞湖沼堆積物における珪藻藻遺骸群集の変動と過去 2000 年間の環境変動復元
●鹿島 薫、福本 侑 (島根大学)、ティモサーリネン (トゥルク大学)
- 15:40 (7) 珪藻形態のアロメトリーについて
●大塚泰介 (琵琶湖博物館)、麦倉佳奈 (福井県大・海洋生物資源)、齋藤めぐみ (国立科学博物館)
- 15:55 (8) 強酸性温泉藻類の温度耐性の再検討
●辻 彰洋 (科博・植物)
- 16:10 休憩

《 一般講演 3 》

【座長 齋藤めぐみ】

- 16:20 (9) *Epithemia adnata*, *E. gibba* 及び *E. sorex* の生育可能な塩分範囲
●千葉 崇 (酪農大・環境共生)、堀江好文 (神戸大・海事)、辻 彰洋 (科博・植物)
- 16:35 (10) 琵琶湖産の直径 3-5 μ m の円盤型珪藻の検討
●根来 健、大塚泰介 (琵琶湖博物館)、辻 彰洋 (国立科学博物館)

【座長 大塚泰介】

- 16:50 (11) ボルネオ島のマングローブ林から出現した 2 つの未記載種を含む非典型的な *Frustulia* の形態 (2)
●中村美穂 (東学大)、真山茂樹 (東京珪学研)
- 17:05 (12) 広塩性珪藻 *Pleurosira* の塩分応答に関する網羅的遺伝子発現解析
鎌倉史帆、●佐藤晋也 (福井県大・海洋生物資源)
- 17:20 (13) 博物館等に保管された珪藻標本の教育的価値と利用
●真山茂樹 (東京珪学研)
- 17:35 最優秀発表賞表彰 (発表者左肩の○は選考対象者、●は一般発表)
- 17:40 学会会長・研究集会実行委員長挨拶
- 17:50 閉会